

建築構造用角形鋼管「K コラム BCR」*1

松尾 信行*2 塩谷 修*3

Cold-Rolled Column for Building Structure “K Column BCR”

Nobuyuki Matsuo Osamu Siotani

1 はじめに

最近のわが国の鉄骨造重層建築物の柱はほとんどすべてがいわゆる箱型断面材である。その中で、5～6階建ての中層建築物では、冷間成形角形鋼管が用いられているケースが圧倒的に多い。また、

2.1 化学成分

BCR295 は耐震性や溶接性を考慮しているため、従来規格と比較して、以下の様に化学成分が厳しく規定されている (Table 1)。

- (1) 炭素等量の規定追加…SN 材の規定と同一
- (2) N の上限規定追加…冷間加工プロセス時効効果の緩和

Table 1.1.1.1.1.1

Table 1.1.1.1.1.1	
項目	内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	

2 「Kコラム」 BCR

<問い合わせ先>

東京 〒100 東京都千代田区千代田2丁目2番3号

当社では、建築構造用冷間ロール成形角形鋼管「Kコラム BCR」の製品仕様、基準強度、並びに設計工法について、(財)日本建築セクターの調査報告書「冷間成形角形鋼管の調査報告書」に基づき、建築士向けに設計資料を提供

建材営業部建材建築グループ TEL 03(3597)3985
FAX 03(3597)3891
建設、鉄構重業部鉄構部 TEL 03(3507)7389

している。Table 4 にその製品規格を示す。「Kコラム BCR」は以下のような特徴を有している。

FAX 03(3597)4361
鋼管セクター室 TEL 03(3597)3517